

2026年8月期 中間決算短信（非連結）

2026年4月15日

会社名 日本ジッコウ株式会社 本社所在都道府県 兵庫県  
 本社所在地 兵庫県神戸市西区南別府一丁目14番6号  
 問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役  
 氏名 西村 圭三 TEL (078) 974-1388

1. 2026年8月期中間期の業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

- (注) 1. 本中間期決算短信の数値は、未監査です。  
 2. 本中間期決算短信の数値は、所要の会計上の修正を行っていません。  
 3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年中間期	2,659	(0.4)	113	(287.2)	138	(173.2)
2025年中間期	2,648	(3.6)	29	(12.8)	50	(3.0)

	中間純利益		1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%
2026年中間期	129	(174.6)	654	97	—	14.1	5.1	5.2
2025年中間期	47	(52.2)	238	55	—	5.4	1.9	1.9

- (注) 1. 期中平均株式数 2026年中間期 197,500株 2025年中間期 197,500株  
 2. 会計処理の方法の変更 有・無  
 3. 売上高、営業利益、経常利益、中間純利益におけるパーセント表示は、対前年同中間期増減率です。  
 4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
2026年中間期	2,719	982	982	36.1	4,974	37	
2025年中間期	2,656	888	888	33.4	4,499	04	

- (注) 期末発行済株式数（自己株式を含む） 2026年中間期 241,900株 2025年中間期 241,900株

2. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
通期	百万円 5,100	百万円 250	百万円 150	—	—	—	—	—

（注）1. 1株当たり予想当期純利益（通期） 759円49銭

2. 当社は中間決算を行っておりませんので中間期の業績及び配当金予想は記載しておりません。
3. 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

## 第52期 中間決算報告書

(2025年9月1日から2026年2月28日まで)

会社名(定款上の商号)	日本ジッコウ株式会社
英文名(英文商号)	NIPPON JIKKOU CO., LTD
代表者の役職氏名	代表取締役社長 佐藤 匡良
本店の所在の場所	兵庫県神戸市西区南別府一丁目14番6号
電話番号	078-974-1388
連絡者	常務取締役 西村 圭三

## I 中間期の業績

## (1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2024年9月1日 至 2025年2月28日	自 2025年9月1日 至 2026年2月28日
I 売 上 高		2,648,069	2,659,146
II 売 上 原 価		1,855,815	1,803,257
売上総利益		792,253	855,889
III 販売費及び一般管理費		762,840	741,996
営業利益		29,413	113,893
IV 営業外収益		25,004	28,356
V 営業外費用		3,806	4,002
経常利益		50,610	138,246
VI 特別利益		1,499	-
VII 特別損失		-	560
税引前中間純利益		52,110	137,686
法人税、住民税及び事業税		4,995	8,329
中間純利益		47,115	129,356

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2024年9月1日 至 2025年2月28日	自 2025年9月1日 至 2026年2月28日
期中平均株式数		197,500株	197,500株
1株当たり中間純利益		238円55銭	654円97銭
潜在株式調整後1株当たり 中間純利益		—	—

※潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

## (2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	前中間会計期間	当中間会計期間
		自 2024年9月1日 至 2025年2月28日	自 2025年9月1日 至 2026年2月28日
工 事 関 連		1,317,521	1,398,763
建設材料販売関連		1,079,594	988,703
混 和 剤 関 連		231,023	271,679
食 品 事 業 関 連		19,930	-
合 計		2,648,069	2,659,146

## (3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前事業年度 (2025年8月31日現在)	当中間会計期間 (2026年2月28日現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	354,417	367,014
2. 受取手形	1,503	641
3. 電子記録債権	201,094	269,254
4. 売掛金	774,436	983,613
5. 商品	127,478	115,146
6. 前払費用	8,188	8,217
7. 短期貸付金	38,854	31,639
8. その他流動資産	6,386	747
9. 貸倒引当金	△6,192	△6,192
流動資産合計	1,506,165	1,770,082
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	137,053	133,026
(2) 構築物	664	561
(3) 工具器具備品	2,940	3,699
(4) 土地	376,738	376,738
(5) リース資産	16,560	14,440
有形固定資産合計	533,958	528,466
2. 無形固定資産		
(1) 電話加入権	0	0
(2) ソフトウェア	9,259	8,667
(3) リース資産	3,060	2,380
無形固定資産合計	12,319	11,047
3. 投資その他の資産		
(1) 関係会社株式	85,000	85,000
(2) 投資有価証券	77,307	77,307
(3) 事業保険積立金	154,479	156,730
(4) 長期前払費用	27,798	23,665
(5) 敷金・差入保証金	68,615	65,300
(6) 会員権	1,350	1,350
(7) その他投資等	294	410
投資その他の資産合計	414,844	409,766
固定資産合計	961,122	949,280
繰延資産		
(1) その他繰延資産	66	33
繰延資産合計	66	33
資産合計	2,467,354	2,719,395

(単位：千円)

科 目	期 別	前事業年度 (2025年8月31日現在)	当中間会計期間 (2026年2月28日現在)
		金 額	金 額
(負債の部)			
I	流動負債		
	1. 支 払 手 形	225,910	27,297
	2. 電 子 記 録 債 務	218,221	445,537
	3. 買 掛 金	112,247	149,081
	4. 短 期 借 入 金	-	100,000
	5. 1 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	104,818	105,036
	6. 未 払 金	14,260	8,745
	7. 工 事 未 払 金	146,368	180,929
	8. 未 払 法 人 税 等	11,668	8,329
	9. 未 払 消 費 税 等	32,576	36,900
	10. 未 払 費 用	78,012	59,269
	11. 預 り 金	25,999	5,345
	12. 賞 与 引 当 金	-	45,000
	流 動 負 債 合 計	970,083	1,181,472
II	固定負債		
	1. 社 債	200,000	100,000
	2. 長 期 借 入 金	195,355	238,203
	3. 退 職 給 付 引 当 金	29,104	29,104
	4. 役 員 退 職 慰 労 引 当 金	126,110	126,110
	5. ク レ ー ム 引 当 金	39,360	19,945
	6. 長 期 未 払 費 用	271	88
	7. 預 り 保 証 金	22,404	23,404
	8. リ ー ス 債 務	21,706	18,627
	固 定 負 債 合 計	634,313	555,483
	負 債 合 計	1,604,396	1,736,955
(純資産の部)			
I	株主資本		
	1. 資 本 金	98,000	98,000
	2. 資 本 剰 余 金		
	(1) 資 本 準 備 金	54,128	54,128
	資 本 剰 余 金 合 計	54,128	54,128
	3. 利 益 剰 余 金		
	(1) 利 益 準 備 金	9,666	10,654
	(2) そ の 他 利 益 剰 余 金		
	繰 越 利 益 剰 余 金	821,042	939,536
	利 益 剰 余 金 合 計	830,708	950,190
	4. 自 己 株 式	△119,880	△119,880
	株 主 資 本 合 計	862,957	982,439
	純 資 産 合 計	862,957	982,439
	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,467,354	2,719,395

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

項目	期別	前事業年度 (2025年8月31日現在)	当中間会計期間 (2026年2月28日現在)
	発行済株式総数		241,900株
期末自己株式数		44,400株	44,400株
1株当たり純資産額		4,369円40銭	4,974円37銭

(4) 株主資本等変動計算書

当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

(単位: 千円)

項目	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	利益 準備金	その他 利益剰余金				
				特別償却 準備金	繰越利益 剰余金			
2025年9月1日残高	98,000	54,128	9,666	-	821,042	△119,880	862,957	862,957
当中間変動額								
剰余金の配当			987		△10,862		△9,875	△9,875
中間純利益					129,356		129,356	129,356
当中間変動額合計	-	-	987	-	118,494	-	119,481	119,481
2026年2月28日残高	98,000	54,128	10,654	-	936,536	△119,880	982,439	982,439

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

中間期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「事業報告書 注記表」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 中間期の減価償却費は年間発生見積額の2分の1に該当する金額を計上しております。有形固定資産に関しては貸借対照表上、簿価を直接減額する直接控除方式を採用しております。
2. 貸倒引当金の計上基準 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能額を計上しております。その他一般債権については前期末と同額を計上しております。
3. 経過勘定項目の会計処理 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、中間期報告書上、資産及び負債への計上を省略しております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

## II 第52期中間期（2025年9月1日～2026年2月28日）の業績の概況

当中間期における日本経済は、雇用環境の改善や国内需要の増加などを背景に、緩やかながらも回復基調が続いたものの、円安・物価上昇の影響もあり、実質賃金は引き続き伸び悩み、企業収益の確保が難しくなっています。建設業界におきましては、建設資材の高騰や人手不足による人的コストの上昇などにより、採算性が低下しています。

さらに長期的には人口減少による市場の縮小も懸念されており、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが専門とするコンクリートの補改修市場については、老朽化する社会インフラへの関心が急速に高まる中、上・下水道管の老朽化対策のための各種工事が継続して行われている一方、受注競争が激化しており、厳しい経営環境が続いております。

当中間期に関しましては、公共水施設関連の防食工事に加え、ジックボード工法を主とした管路分野の補修工事に注力しました結果、売上高は防食工事関連で1,398,763千円（前年同期比6.2%増）となりました。建設材料販売関連は、ジックボード関連商材は販売が増加しましたが、特販商材の出荷量を伸ばすことができなかった結果、売上高は988,703千円（前年同期比8.8%減）となりました。混和剤部門につきましては、工事量の増減に影響されませんが、取引先の開拓や値上げが寄与した結果、売上高は271,679千円（前年同期比17.6%増）となりました。

以上の結果、当中間期は、売上高2,659,146千円（前年同期比0.4%増）、営業利益113,893千円（前年同期比287.2%増）、経常利益138,246千円（前年同期比173.2%増）、中間期純利益129,356千円（前年同期比174.6%増）となりました。

## III 第52期（2025年9月1日～2026年8月31日）の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第51期(実績)	第52期(計画)
		自 2024年 9月 1日 至 2025年 8月 31日	自 2025年 9月 1日 至 2026年 8月 31日
売 上 高		5,056,804	5,100,000
経 常 利 益		114,815	250,000
当 期 純 利 益		21,512	150,000

#### IV 資金及び借入金の状況

##### (1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

項 目	期 別
	当中間会計期間 自:2025年9月1日 至:2026年2月28日
現金及び預金の増減額	12,597
現金及び預金の中間期首残高	354,417
現金及び預金の中間期末残高	367,014

(主な増減理由) 営業キャッシュ・フローの増加によるものであります。

##### (2) 長期借入金の増減

(単位：千円)

項 目	期 別
	当中間会計期間 自:2025年9月1日 至:2026年2月28日
長期借入金の増減額	43,066
長期借入金の中間期首残高	300,173
長期借入金の中間期末残高	343,239

(主な増減理由) 借入金の増加によるものであります。

(注) 長期借入金は、1年内返済予定長期借入金を含んでおります。

#### V その他

該当事項はありません。